

加古川中央市民病院 地域医療情報誌

き ら り

創 刊
準 備 号

2016. 7



地域の医療機関の皆さまと加古川中央市民病院を
「繋ぐ」情報誌を創刊します

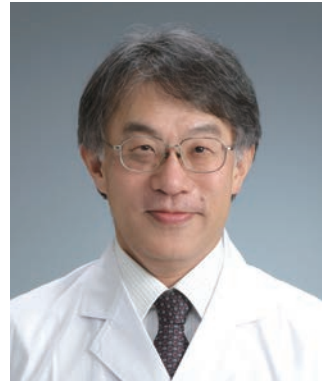


Contents

- 巻頭言
大西理事長あいさつ … 2p
- Message
金田副院長あいさつ … 3p
- 紹介患者さんの窓口 … 4p
- NEW TECHNOLOGY … 6p
- 連携室ニュース … 8p

これまでの医療を礎に、 新たな医療体制の充実を

～地域と繋がり、地域の医療に貢献する病院を目指して～



地方独立行政法人 加古川市民病院機構 理事長
加古川中央市民病院 院長
大西 祥男

平成28年7月1日、加古川中央市民病院が開院いたしました。平成23年4月に加古川市民病院と神鋼加古川病院とが統合してから5年が経過し、当初は6年後に新統合病院へ移転する予定でしたが、設計・建築が順調に進み予定より早く開院することが出来ました。地域の医療機関の皆様には、加古川中央市民病院の開院に向けてご理解とご協力いただき深く感謝申し上げます。特に、移転前後の重症患者、救急患者の受け入れには一方ならぬご協力を賜りましたことを改めてお礼申し上げます。

加古川中央市民病院は、600床、30診療科を有する急性期総合病院です。加古川市民病院の特徴である小児並びに周産期医療と神鋼加古川病院の特徴である循環器領域、口腔外科領域の診療を引き継ぎ、消化器センター、心臓血管センター、こどもセンター、周産母子センター、がん集学的治療センターの5大センターを中心に多くの診療科の総合力で救急医療を充実させて、いざという時の加古川中央市民病院を目指します。また、小児在宅医療支援センター、健康増進・ヘルスケアセンターなども整備してまいります。新病院の病棟やエレベーター配置などは効率性、機能性に配慮するとともに、屋上庭園や病棟内の光庭、銅版画家として有名な山本容子さんの大型壁画など癒される環境整備にも力をいれています。また、従来の高度医療機器に加えて、新たに内視鏡下手術支援ロボットのダ・ヴィンチやマグネティックナビゲーションシステムをはじめとして多くの最新機器を導入いたしました。

生命の誕生から青年期、壮年期、そして老年期に至る生涯に亘って近隣地域の皆さんの健康を支えていくことが我々の病院の特徴であり使命でもあると認識しています。地域の病院、診療所や介護施設などの皆様との連携を強化し、急性期病院としてこの地域における地域完結型医療、地域包括ケアシステムの構築に向けてその一翼を担っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



Message

加古川中央市民病院の果たすべき役割



地方独立行政法人 加古川市民病院機構 理事
加古川中央市民病院 副院長・患者支援センター長
外科・消化器外科 主任科部長
金田 邦彦

7月1日に加古川中央市民病院が開院いたしました。院内では、移転後も関係部署でそれぞれの診療がスムーズに行えるようにほぼ連日会議が行われております。

新病院への移転にあたり、一般診療や救急の受け入れ体制に一時的に制限せざるを得ず近隣の先生方にはいろいろとご不便やご迷惑をおかけいたしました。こころよりお詫びを申し上げます。特に救急症例や手術症例に関しては、受け入れが不可能な時期が発生することになり大変申し訳ありませんでした。移転後の現在は、通常診療に戻っておりますので、またご連絡をいただけると幸いです。

さて、移転後の新病院に課せられた使命の一つは、近隣の医療機関から患者さんをこれまで以上に迅速かつ積極的に受け入れることにあると考えます。新病院は30診療科で、子供から大人まであらゆる疾患に対応できる体制をとることが可能であると考えております。加古川中央市民病院にはこの地域の医療の最後のとりでとしての役割をしっかりと果たすことが求められることになります。

もう一点、東播磨地域における地域包括ケアシステムの構築するにあたって、新病院は近隣の医療機関や介護施設と連携してスムーズに医療・介護の流れができるように中心的な役割を果たす必要があると考えます。急性期病院は、これまではともすれば医療の最上流の部分を担うだけで、病院での治療が終わればその役割は終了したと考えがちでした。今後は、患者さんが地域での医療・介護を完結できるように、急性期病院が中心となって関係医療機関・介護施設と連携を強化していくことが必要となってきます。今後、東播磨医療圏域の地域包括ケアシステムの中で、新病院が重要な役割を担うことができると考えております。

最後に当院からの情報提供の回数を増やし地域連携をより密にするために、広報誌の名称を加古川の水面が輝くイメージの「きらり」に変更するとともに内容も刷新し、毎月発行することになりました。新病院では、その理念にあるように東播磨地域の医療を支え頼られる病院を目指して職員一同頑張りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

加古川中央市民病院 地域連携室

～地域連携室の私たちが、
紹介患者さんを全力で支援します～

新しい地域連携室は、地域の皆さまとの
「新しい繋がり」を目指しています

加古川中央市民病院 地域連携室 副室長(師長) 永富 宏明



この度、地域連携室の副室長を拝命いたしました、看護師長の永富宏明でございます。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

7月1日、「加古川中央市民病院」が開院し、地域連携室は患者支援センターの一部門として、新たな一歩を踏み出しました。

地域連携室は、室長1名、副室長兼看護師長1名、副看護師長1名、退院支援職員14名、予約係6名、事務3名の計26名の体制となりました。後方連携における核となる退院支援職員の人数が非常に多く、かつ、臨床経験が豊富な職員で構成されていることが、当院の退院支援における大きな強みです。その強みを活かし、病棟には専任の退院支援職員だけでなく、専任者と共に病棟を支える副担当者も配置していますので、より多角的な視点で退院支援を行い、細やかな調整が可能になりました。

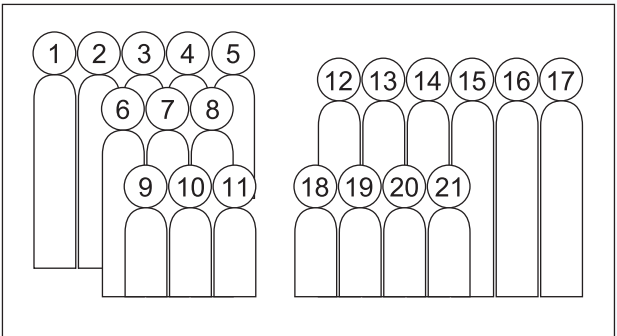
また、統合以前は、東西病院共に地域連携室と入院支援室が離れておりましたが、新病院では、入院支援室・地域連携室が患者支援センター内に併設されただけでなく、入院患者の病床マネージメントを担当する看護師長も同じフロアーに常時待機しており、前方連携がより重厚で、スムーズに行える環境となりました。

病診予約については、開院当初はお返事の遅れがあり、多大なるご迷惑をお掛けいたしました。開院以来、非常に多くのご紹介を頂いておりますのは、加古川中央市民病院に対する先生方の大きな期待の現れであると考えておりますので、そのご期待を裏切ることが無いよう、努めて参ります。

なお、当院は、『いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます』という理念を掲げております。この理念においては、地域の各医療機関の皆様との連携が必要不可欠であり、そのことが地域住民の皆様に対する当院の使命であると考えます。地域連携室の職員は、全員がその使命があることを肝に命じ、各医療機関の皆様との連携が密になるよう努めて参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。



地域連携室メンバー



患者支援センター長・地域連携室長 金田 邦彦②、
地域連携室 副室長 永富 宏明①⑦、係長 大久保 真里香⑧
前方支援チーム：
<予約担当>住江 恵里⑩、若木 由美子⑭、植村 みゆき⑮、
荒井 あゆ美⑯、土居 恵美子⑳、迫田 真貴子㉑、
<事務担当>福地 晴美⑬、山吹 沙耶花⑱、玉岡 友子⑲
後方支援チーム：
岩崎 和也①、山本 知代③、小野 和美④、一ノ瀬 歩⑤、
前田 育美⑥、川福 裕美⑦、川端 由紀子⑨、杉ノ内 舞⑩、梅本 祐希⑪

前方連携

よりスムーズな連携を目指して

加古川中央市民病院 地域連携室 係長(副師長) 大久保 真里香



東西の病院が合併し30診療科となり、医師の数が増加しただけでなく、より専門性が高い診療が行える病院となりました。そのため、患者さんが抱える様々な疾患に対してより的確な診療が行える体制となりました。その診療に必要な病診連携においては、日々予約係と地域連携室スタッフが協働し取り組んでおりますが、地域の先生方から予約体制に関するご期待やご要望もあるかと存じますので、いつでもご連絡ください。

また、インターネット予約につきましては、東西病院で使用されておりましたID・パスワードをご利用できますので、今後是非ご活用ください。なお、利用につきましては、従来どおり、開放病床のご登録をお願いしておりますので、利用を希望される先生におかれましては、地域連携室にご連絡いただくと幸いです。

前方業務につきましては、さらなる改良を目指し、地域連携室だけでなく病院全体で取り組む所存でございますので、今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご紹介の流れ

<FAX>

- 1 診療情報提供書を記載してください
※書式は当院ホームページよりダウンロードできます
 - 2 記載された診療情報提供書を FAX してください
【FAX 番号：079-451-8653 (予約係)】
 - 3 予約後、直ちに予約票を FAX いたします
 - 4 診療情報提供書と予約票を患者さんにお渡しください
- 病診問合せ先 TEL:079-451-8651 (地域連携室予約係)

<インターネット>

- 1 ホームページの「医療機関向けネット予約」よりログインし、希望の診療科・担当医・予約日時をご選択下さい
ホームページ <http://www.kakohp.jp>
 - 2 患者さんの紹介内容をご入力ください
前日までの情報提供にご協力下さい。
 - 3 「予約票」と「診療情報提供書」ボタンを押下して印刷し、患者さんにお渡し下さい
- インターネット予約問合せ先 TEL:079-451-8652 (地域連携室)

NEW TECHNOLOGY

加古川中央市民病院では、最新の医療設備・医療機器を導入し、その技術を駆使して治療を行っています。詳しい内容についてご紹介いたします。

Vol.1 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」 Xi

～ダ・ヴィンチは医師の手の動きを、より細かく綿密な動きに変換します～

ダヴィンチは従来の腹腔鏡手術と同じようにいくつかの小さな切開部を作り、外科医の操作に従って内視鏡・メス・鉗子を動かして手術を行う内視鏡手術支援ロボットです。



①サージョンコンソール



②ペイシェントカート



③ビジョンカート

- ①「サージョンコンソール」とよばれる操縦席に座り、3D 画像を見ながら手元のコントローラーを操作します。
- ②「ペイシェントカート」の4本のロボットアームにその動きが伝わります。
- ③「ビジョンカート」モニターに手術中の画像が映し出され、手術スタッフも同じ画像が共有されます。



担当医師から

このたび加古川中央市民病院開院にあたり手術支援ロボットであるダ・ヴィンチ Xi が導入されました。

これまでのダ・ヴィンチ S、ダ・ヴィンチ Si と比べてロボットアームがかなりスリムになり、鉗子同士の干渉が少なくなることが期待され、より正確な手術操作が行えると考えます。前立腺癌患者様の数は年々増加傾向にあり、その治療法は手術、放射線、薬物療法などがあります。手術適応は基本的に 75 歳以下、転移のない早期の前立腺癌患者様が対象となります。地域の先生方におかれましてはぜひ積極的な PSA 検査を行っていただき、異常値の患者様をご紹介いただければ MRI、生検での精査を進めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

また西市民病院時代より行ってまいりましたレーザー治療（経尿道的尿路結石碎石術、経尿道的前立腺レーザー核出術など）も積極的に行っております。自然排石の見込みのない腎尿管結石、薬物療法をおこなっても残尿の多い前立腺肥大症などの患者様はぜひご紹介いただければと存じます。



加古川中央市民病院 泌尿器科 科部長 酒井 豊

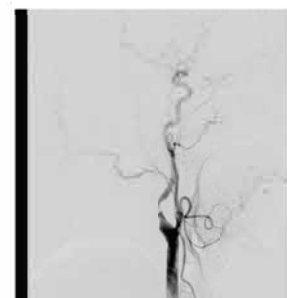
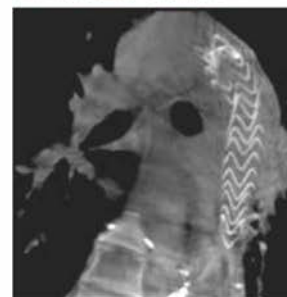
こちらの治療を必要・希望される患者さんがいらっしゃいましたら地域連携室までご連絡をお待ちしています。

地域連携室 TEL：079-451-8651 (予約専用) 及び 079-451-8652

Vol.2 ハイブリッド手術室

～最先端の高度医療を可能にする多目的型ハイブリッド手術室～

心臓血管疾患をはじめとするさまざまな手術において、より低侵襲に行う事ができます。



ハイブリッド手術室で使用する血管造影装置は、従来の血管内にカテーテルを挿入し、造影剤を注入することで、微細な血管病変（狭窄、梗塞など）の診断・治療のみならず、従来 CT でしか得ることができなかった断層画像や3D 画像の撮影も可能になり、複雑な血管の走行も短時間で確実に把握できるようになります。そのことにより、医師が画像を確認しながら術中に治療を修正することも容易になりますので、より迅速で確実な治療が可能になります。

担当医師から

加古川中央市民病院の心臓血管センターでは成人の虚血性心疾患、弁膜症、大血管手術に加え、小児先天性心疾患に対する開心術を行います。加古川市周辺地域で発生した心臓大血管手術症例についてはこどもから成人まで当院で治療が完結することを目指しています。新病院の手術室に導入されたハイブリッド手術室についてご案内いたします。一言でいうならば“血管造影装置”と“手術台”が合体した (hybrid) 新しい手術室です。外科チームの主な対象疾患は胸部・腹部大動脈瘤です。従来、大動脈手術では大きな皮膚切開が必要であり、しばしば人工心肺装置が必要でした。このような手術は、心機能や呼吸機能が低下している症例や高齢者、出血傾向を有する場合には過大侵襲となることがあります。大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術はカテーテルによって大動脈瘤を“なか（血管内）”から治療します。外科的にカテーテルを留置する血管を露出しますが非常に小さな傷ですみ、人工心肺装置を使用することはありません。手術時間や輸血量を節減する“低侵襲手術”を行うことが出来ます。内科チームがカテーテル室で行っていたペースメーカー植え込み術や不整脈治療を行うことも勿論可能です。また心臓血管外科・循環器内科の合同チームによる経カテーテル的大動脈弁植え込み術の実施を目指して準備中です。



加古川中央市民病院 心臓血管センター長（兼）心臓血管外科 科部長 脇山 英丘

連携室ニュース

■ 加古川中央市民病院 開院記念式典・内覧会を開催しました

平成 26 年 3 月より建設工事を進めておりました加古川中央市民病院が無事に完成し、7 月 1 日(金)の開院に先立ち、6 月 11 日(土)～13 日(月)に開院記念式典および内覧会を開催いたしました。

6 月 12 日(日)一般市民対象の見学会はあいにくのお天気となりましたが、多くの皆様にお越しいただき、新病院を見学していただくことができました。地域の医療機関の皆様方におかれましては、ご多用のところ、ご参加頂きましたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



■ 平成 28 年度 地域連携会議のお知らせ

8 月 25 日(木)に加古川プラザホテルにて、平成 28 年度 加古川中央市民病院 地域連携会議を開催することが決定いたしました。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

■ 地域連携室の連絡先

予約に関することやお困りのこと、地域連携室への要望などございましたら、お気軽にご連絡下さい。

予約に関すること：TEL 079-451-8651 / FAX 079-451-8653 [受付時間 月～金 8：30-17：00]

お困りのことなど：TEL 079-451-8652 / FAX 079-451-8654 [受付時間 月～金 8：30-17：00]

■ 次回予告

次回は、心臓血管センターの特集を予定しております。心臓血管センターの体制や医師の紹介、センターの強みなど、豊富な情報を提供させていただきますので、ご期待下さい。

